

医療機関番号

08.1719.1

医療機関名： 医療法人柳泉会 柳橋脳神経外科

1. 自院の現状

(1) 許可病床数 (令和5年(2023年)7月1日時点)

①病床の種別毎の病床数

合計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床
13	13	0	0	0	0

②病床機能毎の病床数 ※一般・療養病床のみを算定

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中
13	0	0	0	13	0

(2) 医師・看護職員の職員数 (令和5年(2023年)7月1日時点)

職種	医師		看護師		准看護師		看護補助者	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
人数	1	1	6	1	5	1	2	0

(3) 診療科目 (令和5年(2023年)7月1日時点)

脳神経外科 外科 整形外科 放射線科 リハビリテーション科 神経科

(4) 自院の特徴と課題

①特徴

脳神経外科専門医によるクリニックです。頭痛外来、物忘れ外来、めまい外来、生活習慣病や睡眠時無呼吸の治療などを中心に行っています。MRI（閉塞感を感じにくいオープンタイプ）やFMDなど先端医療機器を駆使した診療を強みとし、脳ドックでは脳卒中の予防や認知症の早期発見に力を入れています。老人保健施設やグループホームなどの施設も併設しており各種福祉サービスのご案内も可能です。

②課題

職員の確保が難しくなっている。今後はもっと厳しくなるとされる事。又医療状況にも変化があり、今の病棟の状態だと脳神経外科にはそぐわない状況である事を理由として、2024年9月30日をもって病棟を閉鎖する事にいたしました。

2. 今後の方針

(1) 自院の今後の方針

2025年・2030年を見据え、貴医療機関が圏域の中で担う役割について以下から該当するものを選択いただくとともに、具体的な今後の方針について記載してください。（該当する役割すべてに「○」、そのうち主たる役割を1つ選択のうえ「◎」を記載願います。）

今後の圏域における役割	回答欄
① 重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関	
② 救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関	
③ 在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者	
④ 回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関	
⑤ 長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関	
⑥ 特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）	
⑦ かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関	◎

【具体的な今後の方針】

専門性や検査設備を活用して頭痛や認知症などを中心とした治療を行っていく。

(2) 2025年における非稼働病棟への対応

①非稼働病棟の有無（2023.7.1時点）

非稼働病棟の有無
無

②非稼働となっている理由

※ 上記設問の(2),①にて、非稼働病棟が「有」となっている場合に回答

#N/A

③非稼働病棟における2025年の方針

※ 上記設問の(2),①にて、非稼働病棟が「有」となっている場合に回答

方針		
再稼働	#N/A	←再稼働する場合、再稼働後の病床機能を選択（一部のみ再稼働する場合もこちらを選択）
廃止	#N/A	←廃止する場合、こちらを選択（非稼働病棟を全床廃止する場合のみ選択）
検討中	#N/A	←非稼働病棟の方針が未定の場合のみ選択

④ {再稼働} を選択した場合：再稼働後の当該病棟における役割等を記載（担う役割、医療従事者の確保見込み等）

{検討中} を選択した場合：方針が決まらない要因、いつまでに方針が決まる見込みかを記載

※ 上記設問の(2),③にて、「再稼働」・「検討中」を選択した場合に回答

#N/A

(3) 2025年・2030年における許可病床数の予定

病床機能	2023.7.1時点 (A)	2025年 (B)	現在との差 (B-A)	変更時期1 (※)	2030年 (C)	現在との差 (C-A)	2025年との差 (C-B)	変更時期2 (※)
高度急性期	0	0	0		0	0	0	
急性期	0	0	0		0	0	0	
回復期	0	0	0		0	0	0	
慢性期	13	0	-13		0	-13	0	
休棟	0	0	0		0	0	0	
廃止		13	13	2024年10月	0	0	-13	
介護施設等への転換		0	0		0	0	0	
合計	13	0	-13		0	-13	0	

※ 左欄で「0」以外の数値が入っている欄に変更予定時期を記入してください。（記入例：2027年7月）